

重点目標 2

男女平等を推進する教育・学習の充実

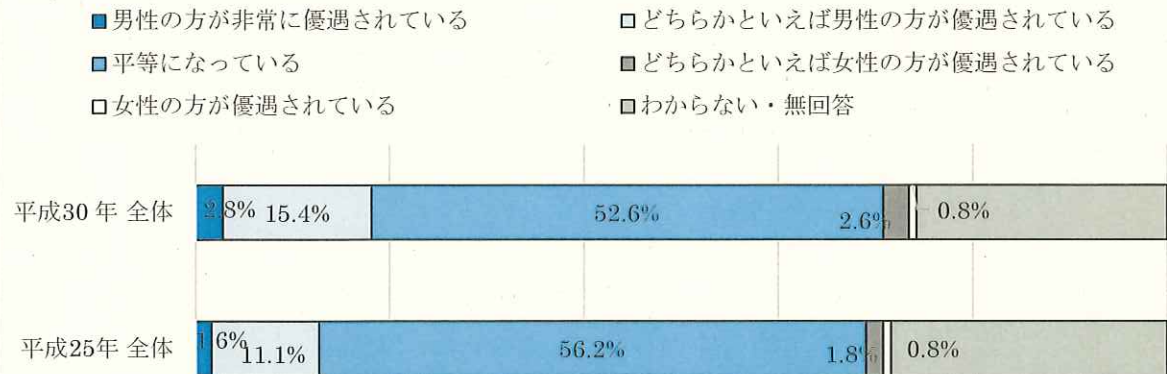
施策の方向

(1) 保育園（こども園）・学校における男女平等の推進

【現状と課題】

- ・ 市民意識調査の結果では、学校教育の場において、男女の地位が「平等になっている」と感じている人の割合が52.6%でした。
- ・ 前回調査（平成25年実施）と比べると、「平等になっている」と感じている人の割合は、3.6ポイント低下しています。
- ・ 平成30年に中学生を対象にしたアンケート（以下「中学生アンケート」という。）の結果では、学校生活において、男女の地位が「平等になっている」と回答した生徒の割合が68.0%でした。
- ・ 子どもたちの将来が固定的役割分担意識にとらわれず、主体的に自分の進路等を決定することができ、個性と能力を発揮していくことができる教育の充実が必要です。

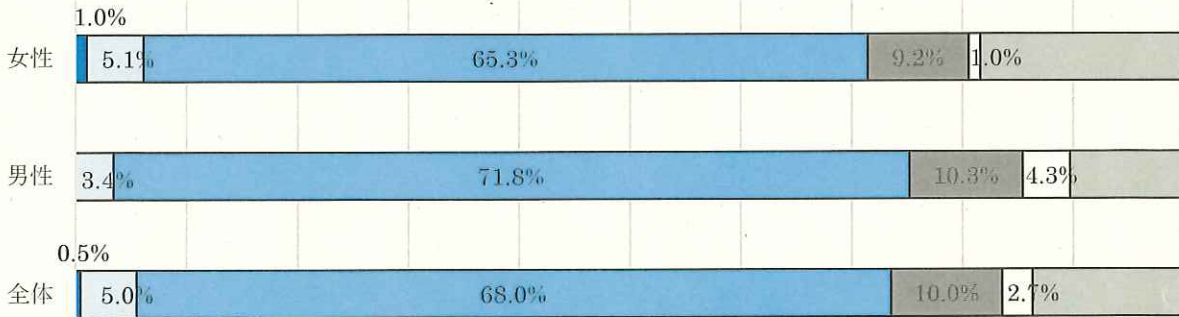
●学校教育の場における男女の地位の平等感について



資料：平成25年度、平成30年度胎内市男女共同参画に関する市民アンケート調査

● 学校生活における男女の地位の平等感について

- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない・無回答



資料：平成30年度男女共同参画に関する中学生アンケート

施策の方向（1）保育園（こども園）・学校における男女平等の推進

具体的施策

- ① 保育園、こども園において、乳幼児一人ひとりが安心して自己発揮できる環境作りに努め、日々の教育・保育を通して、固定的役割分担意識にとらわれない保育を実施します。
- ② 保育園、こども園及び学校において、豊かな体験活動を通して、成長に応じた主体的に行動する能力・態度を身に付けるための学習機会を提供し、男女平等教育の充実を図ります。
- ③ 学校において、男女平等の視点を基盤に夢や希望をかなえるために、自立して生きる力を育むキャリア教育の充実に努めます。

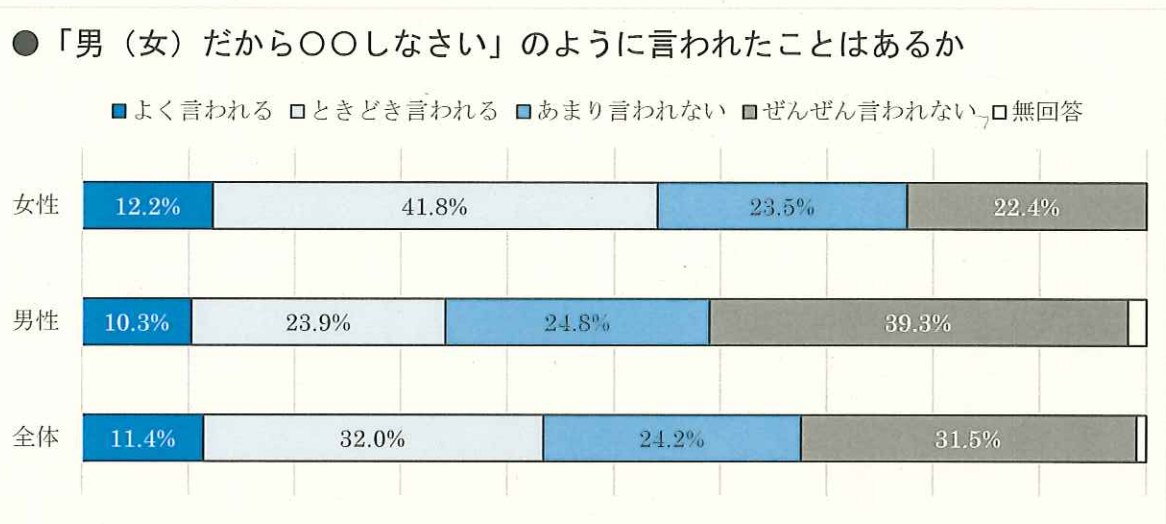
番号	指 標	算出方法	H30 年度	R5 目標
5	学校生活において男女の地位が「平等になっている」と感じている生徒の割合	中学生アンケート	68.0%	75.0%

施策の方向

(2) 保護者・保育士・教職員等への意識啓発

【現状と課題】

- ・ 中学生アンケートの結果では、中学生が大人の人から「男（女）だから〇〇しなさい」と「よく言われる」、「ときどき言われる」と答えた人が4割以上でした。
- ・ 男女共同参画の視点に立った教育をおこなうためには、**子どもの教育に対する家庭や地域の積極的な参画を支援し、連携することに加え、教育関係者に対する研修を充実させることが大切です。**



資料：平成30年度胎内市男女共同参画に関する中学生アンケート

施策の方向（2）保護者・保育士・教職員等への意識啓発				
具体的施策				
① 保育士・教職員等に対し、職員研修の一環として男女平等教育の必要性について研修機会を提供します。 ② 保護者に対し、保護者会、学級懇談などの機会、お便りなどを活用した情報提供を行い、男女平等について普及啓発を行います。 ③ 教職員の校務分掌や研究会等において、性別による固定的な役割分担とならないように、男女平等を 推進 します。				
番号	指標	算出方法	H30年度	R5目標
6	保育士・教職員等を対象とした男女共同参画事業に関する研修会の開催回数	総務課資料	—	1回以上

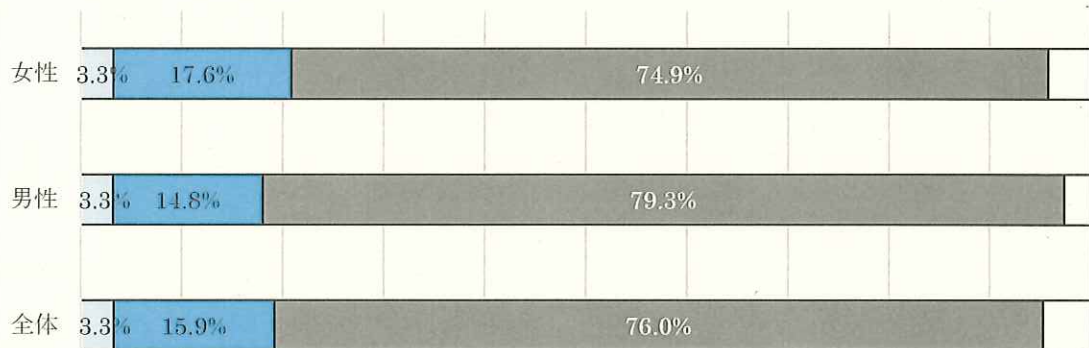
施策の方向（2）性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルツ／ライツ）※17の普及・啓発

【現状と課題】

- 女性は、妊娠・出産や、**女性特有の**更年期疾患を経験する可能性があることから、生涯を通じて男性とは異なる健康上の配慮が求められることがあります。
- 男女共に、生涯を通じて健康課題について正しい知識を持ち、健康づくりに取り組むことが必要です。
- 市民意識調査で、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルツ／ライツ）※の認知度を調査し、「知らない」と回答した人が76%と高い割合となりました。
- 女性の人権尊重と母体保護の視点から性と生殖に関する健康と権利の重要性を認識するための広報活動や情報提供など普及・啓発が必要です。
- 性に関する正しい理解と知識を高めるとともに、産む性としての母性の尊重と命の大切さについて認識することが大切です。

●リプロダクティブ・ヘルツ／ライツ（性と生殖に関する女性の健康と権利）について

□内容まで知っている ■言葉を知っているが、内容までは知らない ■知らない □無回答



資料：平成30年度胎内市男女共同参画に関する市民アンケート調査

施策の方向

(3) 性に対する正しい知識の啓発

【現状と課題】

- ・ 児童生徒が命の大切さや男女の身体の違いなどを理解し、また、思春期の男女が性についての正しい知識を持ち、適切な意思決定ができるよう、児童生徒の発達段階に応じた性教育を推進します。
- ・ インターネットや携帯電話等による有害情報から児童生徒を守るための情報モラル教育を推進します。

施策の方向（3）性に対する正しい知識の啓発				
<p>具体的施策</p> <p>① 各学校の保健体育や保育実習、宿泊体験学習、修学旅行など、さまざまな機会において、効果的な学習が行われるように、発達段階に応じた適切な指導の充実を図ります。</p> <p>② 児童生徒の保護者を対象に性に関する学習会の機会を提供します。</p>				
番号	指 標	算出方法	H30 年度	R5 目標
24	保護者と子どもを対象とした性に関するセミナーの実施回数	総務課資料	—	1回

⑨胎内市男女共同参画計画における SDGs の取組について

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs) ※19 を中核とする「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、平成 27 (2015) 年 9 月に、国連サミットで採択されました。

17 ある目標の 5 番目に「ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う」を掲げられました。

この状況を踏まえ、本計画においても、上記目標を中心に、各項目を意識しながら引き続き男女共同参画社会実現に向けて取り組んでいきます。



※19 SDGs

平成 27 (2015) 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された令和 12 (2030) 年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。